

---

## 第 62 回 数理社会学会大会 (JAMS62) プログラム【暫定版】

※このプログラムは暫定版です。今後、修正・変更する場合がありますのでご注意ください。

---

日時：2016 年 8 月 27 日（土）～8 月 28 日（日）

会場：金沢大学 角間キャンパス

大会委員長：轟亮（金沢大学）

---

### 1 参加費、懇親会費（セミナーおよびシンポジウムの参加は無料）

大会参加費	一般（会員）	4,000 円	学生・院生（会員）	2,000 円
	一般（非会員）	5,000 円	学生・院生（非会員）	2,500 円
懇親会費	一般	6,000 円	学生・院生	2,000 円

### 2 主なスケジュール

	時間	人間社会第 1 講義棟 101 室	人間社会第 1 講義棟 201 室	その他
8 月 27 日	10:25～11:40	第 1 部会	第 2 部会	
	11:50～12:50	編集委員会ワークショップ		
	13:00～14:20			萌芽的セッション第 1 部 (人間社会第 1 講義棟 202 室)
	14:30～15:30	数理社会学会賞授賞式・ 受賞講演		
	15:40～16:40	総会		
	16:50～18:20			懇親会（角間キャンパス北 福利食堂）
8 月 28 日	10:00～11:20			萌芽的セッション第 2 部 (人間社会第 1 講義棟 202 室)
	11:30～12:45	第 3 部会	第 4 部会	
	13:00～15:00	ワンステップアップ・セミ ナー		

### 3 主な会場（金沢大学角間キャンパス 角間北地区・人間社会第 1 講義棟）

- 受付：人間社会第 1 講義棟 201 室前。
- 会員控室・抜き刷り交換コーナー：人間社会第 1 講義棟 204 室

### 4 口頭報告者へのお願い（自由報告）

- 部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- 会場設置パソコンを利用できます（Windows7, Office2010）。持参パソコンの場合、Windows ノートパソコンが使用可能です。その他の機器使用を希望する場合はご連絡ください。
- ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）。
- 配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- （司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴、15 分 2 鈴、25 分 3 鈴を鳴らします。

## 5 ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

- ・ポスターは大会開会から大会閉会までの間掲示。閉会後は各自で持ち帰ってください。
- ・最大で 850 × 1630mm のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
- ・部会開始 5 分前に集合してください。

## 6 問い合わせ先

**研究事務局** 〒981-3193 仙台市泉区天神沢 2-1-1

東北学院大学教養学部 神林博史 E-mail : jams.research[at]gmail.com, Tel:022-773-3712

**大会事務局** 〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学人間社会研究域人間科学系 小林大祐（大会事務局） E-mail : jams.meeting62[at]gmail.com

Tel : 076-264-5307（研究室直通）

## 8月26日(金)

13:00~15:00 編集委員会（近江町交流プラザ・研修室2）  
13:00~15:00 選挙管理委員会（近江町交流プラザ・研修室3）  
15:00~17:00 研究活動委員会（近江町交流プラザ・研修室3）  
17:00~20:00 理事会（近江町交流プラザ・研修室2）

※各委員会および理事会の会場は金沢大学ではなく、市中心部の近江町交流プラザとなります。  
近江町交流プラザ <http://www4.city.kanazawa.lg.jp/22045/oumicho.html>

## 8月27日(土)

09:50 開場・受付 人間社会第1講義棟201室前

10:20 開会挨拶 大会委員長 轟亮（金沢大学） 人間社会第1講義棟101室

10:25~11:40 自由報告I

【第1部会】社会階層と社会移動 人間社会第1講義棟101室  
司会 近藤博之（大阪大学）

1 夫婦の職業からみる階層結合の趨勢とその要因 打越文弥（東京大学大学院）  
—産業・学歴構造と出会いの機会の変化に着目して—

2 入職時の失業経験が初期キャリアの不安定性に与える影響 麦山亮太（東京大学大学院）

3 主観的社会移動のメカニズム—世代差に着目した分析— 金澤悠介（岩手県立大学）

【第2部会】社会理論とゲーム理論 人間社会第1講義棟201室  
司会 大林真也（東京大学・日本学術振興会）

1 初期ガーフィンケル理論の展開 小田中悠（慶應義塾大学大学院）  
—ハイパーゲームによる定式化を通して—

2 退出・復帰可能な繰り返し囚人のジレンマにおける Pavlov 戦略の進化 ○坂本雄飛（芝浦工業大学）  
武藤正義（芝浦工業大学）

3 構造-機能理論の脱構築—「危機に立つ構造-機能理論」を例に— 中井豊（芝浦工業大学）  
大山智徳（日本郵便広島支店）

＊＊＊＊昼食休憩（80分）＊＊＊＊

11:50~12:50 編集委員会ワークショップ 人間社会第1講義棟101室

演題：「学術雑誌が刊行されるまで」  
登壇者：村上あかね（桃山学院大学、『理論と方法』副編集長）  
※昼食をとりながら行いますので、参加をご希望の方は昼食をご持参ください。

1 ブール代数分析による社会的カテゴリーの研究  
—『大人の条件』イメージを例として—

2 日本における労働組合と非正規雇用—パートの比率に着目する—

3 日本版社会経済的指標と社会的地位指標の開発と適用

4 男女・年齢別集計表における年齢効果の検出

5 初婚・出産が生活時間の組み立てに与える影響のジェンダー分析

6 大学での専攻分野とキャリア形成

7 事例先導型質的方法と内生性の克服：過程追跡と因果メカニズム  
初食は現食を規定するのか—量的調査、写真法、イラスト法による、  
食生活への混合研究法アプローチ—

9 まちあるき記録作成支援ソフトウェア『聞書マップ』の  
スマートフォン対応化

10 「我々」に対するしっぺ返し戦略の進化的ダイナミクスについて

11 新卒採用情報サイトにみる採用基準の異質性  
「社会の姿」は人びとの意識にどう影響するのか？

12 一階層イメージと社会意識の関係に関する試論—  
中学生の教育期待における時間割引選好の影響

13 一社会学的な合理的選択理論の検証—  
職業イメージに関する一考察

吉田俊文

郭雲蔚（京都大学）

藤原翔（東京大学）

○坂口尚文（家計経済研究所／  
総合研究大学院大学）

中村隆（統計数理研究所）

柳下実（首都大学東京）

豊永耕平（東京大学大学院）

中澤香世（早稲田大学）

小林盾（成蹊大学）

○原田豊（科学警察研究所）

山根由子（科学警察研究所）

齊藤知範（科学警察研究所）

大川裕章（HCC ソフト（株））

高島聖（HCC ソフト（株））

○梅谷春延（芝浦工業大学）

武藤正義（芝浦工業大学）

中井豊（芝浦工業大学）

○麦山亮太（東京大学大学院）・  
西澤和也（東京大学大学院）

神林博史（東北学院大学）

小川和孝（東京大学）

元治恵子（明星大学）

\* \* \* \* 休憩（10分） \* \* \* \*

\* \* \* \* 休憩（10分） \* \* \* \*

\* \* \* \* 休憩・移動（10分） \* \* \* \*

9:30 開場・受付

人間社会第1講義棟 201 室前

10:00～11:20 萌芽的セッション（ポスター報告）II

人間社会第1講義棟 202 室

1 コミュニケーションと共感の社会学（1）	志田基与師（横浜国立大学）
2 移民の帰化率に帰化テスト導入が与える影響の実証的検討 —欧米日のカントリーイヤーデータのパネル分析を通して—	木原盾（東京大学大学院）
3 代入法による擬似きょうだいデータの生成と検証	三輪哲（東京大学）
4 ネットワーク外部性がある財に対する ECSMP の社会厚生分析	○七條達弘（大阪府立大学）
5 訪問型調査における訪問回数は回答の説明要因となり得るか 「寛容な信頼」は存在するか？	福田恵美子（防衛大学校）
6 —実験的 Web 調査を通じた機能検証—	前田忠彦（統計数理研究所）
7 反日運動が日本人の中国に対する態度に与える持続的影響	稻垣佑典（統計数理研究所）
8 キャリアにおける役職獲得過程	五十嵐彰（東北大学）
9 居住クラスターの属性が人口動態に与える影響	西澤和也（東京大学大学院）
10 社会意識に対する姓名の希少性の影響	○関口卓也（国立情報学研究所）
11 高齢期における期待収入パッケージとその階層差	田村光平（東北大学）
12 外向性がすべてか—主観的幸福感に対するオフライン、オンラインの ネットワーク・サイズの効果—	増田直紀（University of Bristol）
13 親別離イベントが子どもの教育的アウトカムにもたらす異質な帰結 —中学生と母親パネル調査（JLPS-J）を用いた分析から—	塚常健太（KDDI 研究所）
14 専門学校卒業者の職業経歴	永吉希久子（東北大学）
	石黒格（日本女子大学）
	白川俊之（大阪大学）
	多喜弘文（法政大学）

＊＊＊＊休憩（10分）＊＊＊＊

11:30～12:45 自由報告Ⅱ

【第3部会】数理モデルとその応用 人間社会第1講義棟 101室

司会 潤川裕貴（東北大学）

相対リスク回避による進学格差生成条件の検討

1 一モデルパラメータの推定を通して—

濱本真一（立教大学）

2 Love Dynamics Between Cautious Romeo and Juliet with Delays in Self and Cross Reactions

松本 昭夫（中央大学）

3 論文引用ネットワーク分析の国際政治学への応用

○岡本哲明（東北大学）

—臨界負荷量の認識共同体を事例として—

石井敦（東北大学）

【第4部会】 現代社会の諸問題の計量分析 人間社会第1講義棟 201室

司会 稲垣佑典（統計数理研究所）

地方労働者の仕事・生活満足度と定住意欲の関係

1 一山形県飯豊町における社会調査の分析—

堀内史朗（山形大学）

2 ② Determinants of the Mutual Perceptions between Japanese and Chinese:  
Results from the Asian Student Survey 2013

張騰飛（早稲田大学大学院）

文化活動はオムニボア（雑食）かユニボア（偏食）か

○小林盾（成蹊大学）

3 一2015年第1回 SSP 調査による、文化の階層性への分析社会学アプローチ—

大林真也（東京大学・日本学術振興会）

12:45 閉会挨拶 大会委員長 轟亮（金沢大学）

人間社会第1講義棟 101室

\* \* \* \* 昼食休憩（15分）\* \* \* \*

13:00～14:40 ワンステップアップ・セミナー

人間社会第1講義棟 201室

演題：「統計学・計量社会学をどう教えるか：よりよい統計学教育をめざして」

講師：神林博史（東北学院大学教養学部）

※昼食休憩時間が短いので、昼食をとりながら行います。必要な方は昼食をご持参ください。

（備考）

- 印は登壇者を示します。□は英語による報告です。The □ symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- ベビーシッターはご案内しておりません。必要な方はご相談ください。
- 開場校での無線 LAN は、eduroam が使用可能です。

（変更履歴）

2016年7月16日 暫定版プログラム

2016年\*月\*\*日 大会前確定版プログラム

2016年\*月\*\*日 大会後確定版プログラム